

展示No	(岩手県)	提案区分	☐ 樹脂成形	☐ ゴム製品	☐ 電気・電子部品等	☐ 鋳造・鍛造等	
	25		☐ プレス加工	☐ 表面処理・熱処理	☐ 機械加工	☒ システム・ソフトウェア	
その他()							
提案技術・製品名 自動運転開発における検証の仮想化「ViViD」							
企業名	(株)ジェーエフピー				資本金	1,000 万円	
					従業員	20 名	
所在地	岩手県盛岡市材木町2-26				本社 所在地	岩手県盛岡市材木町 2-26	
海外生産拠点							
主要取引先	トヨタ自動車(株)、(株)デンソー、ウーブン・バイ・トヨタ(株) 等						
規格認証取得							
提案の狙い	☐ 新工法 ☒ 品質向上 ☒ 性能向上 ☐ 質感向上 ☒ 生産性向上 ☒ コストダウン ☐ 軽量化 ☐ 環境負荷 ☐ その他()						
適用可能な 製品/分野	設計検証: 開発MILS段階で設計モデル検証 ECU検証: 自動運転ECUの開発、検証を効率化						
セールスポイント	開発時間: 標準ソフトをベースに顧客仕様にカスタマイズ対応可						
提案技術・製品名の内容/特長							
従来技術・製品			提案技術・製品				
☐ 自社 ☐ 同業他社 ☒ その他()							
自動運転開発のテスト評価 ●実車で検証 →膨大な実車の走行試験が必要 ※複雑な検証条件の組み合わせが膨大 ・光環境・走行環境・障害物・気象条件 →AI機械学習データの不足			自動運転開発のテスト評価 →仮想環境上のモデルで検証する ※仮想環境: カメラやセンサ、走行環境を仮想モデル化 開発の効率化と工数・工期の大幅な削減 ・センサー仮想値出力でアルゴリズム検証 ・困難なテスト要件の構築、再現が容易 ・各規格に準拠したテスト要件シナリオ →仮想モデルからアノテーション付きのセンサデータを出しAIの機械学習データとして利用する				
● 自車(テスト車両)モデル ● 道路モデル ・標識、信号、外灯など ・建築物、背景 ● 他車のモデル ● 歩行者のモデル ViViD (UE4) → レンダリング(昼夜、天候) センサモデル (LiDAR/ミリ波レーダー/ソナー) 車載カメラ映像 (ステレオ、広角 デプスなど) 物体までの距離、座標点群 (センサシミュレーション値) 画像/点群+アノテーション ファイル タグ付き機械学習データ ECU(アルゴリズム)→ 認知、判断、操作 (MATLAB/Simulink、C言語) 開発中AI							
開発進度(10月現在)	☐ アイデア段階 ☐ 試作/実験段階 ☐ 開発完了段階 ☒ 製品化完了段階						
従来との比較 優位性数値割合	品質向上	性能向上	質感向上	生産性向上	コストダウン	軽量化	その他()
	○	○		○	検証△80%		
連絡担当者	【所属・役職】 営業部				【氏名】 小澤 健一		
URL	https://www.jfp.co.jp				Email	ozawa@jfp.co.jp	
TEL	019-623-3613				FAX	019-623-4028	